

◆teku-teku 2011★真壁ひなまつり企画(活動記録+評価集計結果)◆

企 画■真壁のひなまつりを訪ねて ～歴史的町並を歩き、旧家のお雛様を拝見する～

日 時■2011年 2月11日(金・祝) 10時20分～17時頃

コース■TXつくば駅<集合>ー(直行バス)ー旧真壁駅～真壁の町並み散策+お雛様見学(桜井精肉店、古仏修復工房、稲葉米穀店、村井醸造、増田酒店、旧真壁郵便局、川嶋書店、山中家住宅、諸川屋商店、小田部生花店、鶴屋呉服店、西岡本店ほか)～旧真壁駅ー(直行バス)ーTXつくば駅<解散>

参加者■◎大竹 亮、井手幸人、栗原 徹、水谷晴子(以上4名、敬称略、◎コーディネイター)

企画主旨■立春が過ぎれば、間もなくひなまつりです。最近、全国各地の伝統的町並みで、旧家の大切な雛人形を公開し、来客がこれを拝見するという活動が盛んに行われています。今回は、筑波山の北にある真壁のひなまつり(2/4～3/3)を訪ねます。桜川市真壁は、重伝建地区に指定され、歴史まちづくり法の第二次計画認定を受けた関東有数の城下町です。300棟余の見世蔵、土蔵、門が軒を連ねる町並みを歩き、家々の中に飾られた代々伝わる自慢のお雛様を見せていただき、懐かしい温もりを感じながら、街の人たちと交流し、まちづくりを考えましょう。



立派な門構えが特徴的な真壁の町並み



旧家の内部に展示された自慢のお雛様

<参加者の意見・評価>

1◆真壁城下町について(全体)

評価:4.50 内訳:AAAB

A:歴史的な資産が数多く残り、それらを街として活かすために「ひなまつり」などが行われているが、安易に観光地化されてはいないところがいい。

A:歴史的建物が多く残っており、びっくりした。まだ、あまり観光化されていないところが良い。住んでいる人の町への愛着が感じられた。

A:門が多いといった感じを持ちました(ほぼ全て登録文化財)。これだけあるのであれば、門の鑑賞方法などのガイドブックがあってもいいかもしれませんね。

B:小さな町だが、立派な門と塀の屋敷が並ぶ道や伝統的商家が連なる通りがいくつもあり、歴史の重みを感じさせる。また、茨城では珍しく(?)、地元の方の雰囲気もものやわらかで人当たりがよい(!)のには驚いた。町並みは整備途上でやや散漫な印象を受けるが、ひなまつりなどの活動ぶりを見れば、今後に期待できよう。

2◆真壁のひなまつりについて

評価:5.00 内訳:AAAA

A:ひなまつりを街全体で行うことで、街の一体感が感じられるとともに、普段は入りにくい店の中まで気軽に入れるところがいい。

A:あいにくの天気で、出かけるのがためらわれたが、行ってみて本当に良かった。町も美しい、お雛様もきれい、出迎えてくれる人々も大変あたたかく、また行きたいと思った。

A:この企画に参加されている方々の「もてなし」には敬服しました。とても心地よくお雛様を拝見させていただき、いい気持ちで帰ってこることができました。

A:非常に充実したひなまつりであった。それぞれのお店がお雛様を飾って、それを拝見することでお店の方ともお話ができる。立派な土蔵の奥や階上の座敷に飾ってある旧家もあり、華やかながら重厚な風情も感じられた。次のお雛様を拝見し、お話しをするのが楽しみで、降りしきる雪の中にもかかわらず、いつの間にか、街全体を歩いてしまった。

3◆真壁で特に象に残ったところ

旧真壁郵便局★町の中心にある象徴的な近代洋風建築なので、今後も交流拠点として活かしてもらいたい。

川嶋書店★この街のまちづくりについての話が聴けたのが良かった。

川嶋書店★本格的な伝統商家建築であり、2階で真壁のまちづくりのお話をじっくりと聴くことができた。

川嶋書店の2階でまちづくりの話を聞いた方★重伝建のまちに仕立てた功労者のお一人かと思います。登録文化財にするのは簡単、という言葉が頭の中に残っています。

村井醸造★重厚で奥行き深い造り酒屋の建物群は、とても素晴らしい空間。

西岡本店★白壁土蔵の建物が連なり、とても大規模で重厚な酒蔵だが、おかみさんは気さくで楽しかった。

鶴屋呉服店★重厚な外観の建物の中に入ると、年代別に多くの壮麗な雛人形が並べられていて圧巻だった。

甘酒をいただいた増田酒店★真壁の町についての色々な昔話や甘酒のふるまいで、気分がとても安らいだ。

甘酒をいただいた酒店のおかあさん★とても親しみやすい方で、町の話が勉強になりました。またお話を聞きに行きたい。

甘酒などのふるまい★甘酒やお茶などを、どうぞどうぞとふるまってくれる所があり、寒い中ありがたかった。住む人自身もひなまつりを楽しんでいるのがよくわかった。

メンチカツの桜井精肉店★とても庶民的な風情のお店だったが、隣の立派なお屋敷がご自宅と聞いて驚いた。

メンチカツを食べた店のご夫婦★ご夫婦がつくるメンチは絶品。

稲葉屋米穀店の店内★雛人形もすてきだったが、中に入って珍しい道具や食品類を拝見したのも有益だった。

小田部生花店の店頭★大量の生花に飾られたお雛様は、とても美しかった。お店の持ち味による工夫が見事。

諸川屋商店の内部★格調高い外観にふさわしく、書院造風の内部を上品に改装しており、とても好感が持てた。

住居の改修とお雛様を熱く語ってくれた雑貨屋のご主人★楽しそうに（ちょっと自慢も含め）お雛様と明かり取り窓の話、印象に残りました。

蔵の中のお雛様★「立派な門のはるか先に黒壁の蔵があり、その中に、お雛様が光り輝いている」あの光景は印象的でした。

たくさんのお雛様★それぞれの家が趣向をこらして、非常に丁寧に飾り付けており、ゆっくり見ても見あきない気がした。

真壁の雪景色★伝統的な町並みに、降りしきる雪がよく似合っていた。

つくばからの直行バス★大変快適で、ちょっとした旅行気分が味わえる。



重厚な建物が並ぶ醸造業の西岡本店



メンチカツが美味しい庶民派の桜井精肉店



明りとり窓に特色がある諸川屋商店の内部



長屋門の奥の土蔵に雛人形を飾る山中家住宅

4 ■真壁の町の今後の方向と、まちづくりの方法について

- 東京から日帰りできる距離であり、観光地とすることも可能だが、安易な観光地を目指さずに、街の人たちが自分たちの街に愛着を持てるようなまちづくりを目指すべきだと思う。
- あまり観光化されていない今のままで良いと思うが、ひなまつり以外の時にも訪ねてみたいので、筑波山と合わせたバスルートがあるとよいと思う。
- 今回お会いした方々のお話は、とても心に残りました。こうした人材をうまく活かした、暖かいまちづくりを目指しているんじゃないかと思います。まちづくりのキャッチコピーとしては、「まちを歩き、人と話し、心がホッとするまち真壁町」といった感じでしょうか？
- 重伝建の指定と歴史まちづくり法の認定により、町並みの保存整備には一定の合意と方針が定まっているが、個々のお店の商売や若い人の働き口がないと、活きた街としては存続できない。観光地化を急ぐべきではないが、ひなまつり以外の時期にも、来訪者と街の人が交流できるような機会があるといいと思う。



まちづくりの拠点となった川嶋書店の内部



真壁の中心街に連なる伝統的な町家群

5 ■その他、今回の企画に対する感想など自由に

- 雪の真壁はなかなか風情があり、訪れる人が少ないので地元の方々の話をゆっくり聞くことが出来たのが非常に良かった。天気が良く観光客で賑わっていたら、全く印象が違っていったと思う。(T・K)
- いつかは訪ねてみたかった真壁の町ですが、ひなまつりに行くことができて大変満足です。立派な建物が多く残されており、またお雛様の数も多く、まだまだ見足りなかった感じです。またこの季節に行ってみたいと思います。(H・M)
- 天候が悪かったのがこれ幸い。いろいろな方に話が聞けて楽しいまち歩きができました。中心部に美術館が建設されていました。この美術館ができたきにどの様に変わっているか見に行きたいです。(Y・I)

コーディネイターより●降りしきる雪の中、風情ある真壁の城下町をじっくり歩くことができました。直行バスは貸し切り状態で、旧家でもゆっくりお話ができ、どこでもとても歓迎していただきました。この来訪者に対するあたたかさが、真壁の大きな魅力だと思います。TXとの乗り継ぎで東京からも便利になった真壁の街を、今回参加できなかった皆さんもぜひ訪れてみてくださいね。(R・O)



近代洋風建築の旧真壁郵便局前にて



真壁でいただいた雛ちらしランチ